

循環補助用心内留置型ポンプカテーテル（インペラ；IMPELLA）使用中に発生する溶血と急性腎障害についての検討に関する研究

1. 研究の対象

2018年11月1日～2023年3月31日の期間に当院においてインペラで補助を受けた病客さま

2. 研究目的・方法

インペラは2018年より日本国内で導入された新しい循環補助カテーテルです。インペラの使用は急性心筋梗塞後などの心機能回復に寄与することが期待されています。しかしながら、使用することによってさまざまな合併症を併発する可能性があります。合併症のなかには大きな出血や脳卒中および急性腎障害などが報告されています。その中の1つに溶血（赤血球が破壊されること）があります。現在では溶血が発生する原因や、急性腎障害への影響は明らかでない部分が多いです。そこで今回、インペラを使用した病客さまにおいて溶血の発生状況と急性腎障害の関係を明らかにすることを目的として調査を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景（年齢、性別、体格）
- ・血液生化学検査 胸部X線などの画像所見 心臓超音波検査
- ・急性腎障害診断（KDIGO分類）
- ・インペラ動作状況（補助日数、補助レベル）

4. 外部への試料・情報の提供

今回の検討では外部への情報提供はありません。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 臨床工学科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで2021年12月31日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：臨床工学科 村木 亮介

研究責任者：臨床工学科 中島 康佑